

放課後児童クラブ利用手続き等に関わるDX推進実証事業について

1. 羽村市の現状

- 羽村市内の学童クラブ：12か所（うち2か所委託運営）
- 入所対象児童：原則小学校1～3年生
- 入所状況：656人（児童数に対する入所割合58.6%）
- 市直営による運営：会計年度任用職員80人（平均年齢58.8歳）
※半数以上が60代・70代の職員

2. 現在の運営上の課題

- ✓ 学童クラブへの入所児童は増加傾向にあり、4月時点で定員が埋まった学童クラブは5箇所となり、事務作業も増加している。
- ✓ 保護者からの連絡（出欠席・早退・体調管理等）は、電話又は連絡帳を活用しており、その対応・確認に時間を要している。
- ✓ 児童の登所時間の確認・管理は、職員が目視・手作業で実施している。
- ✓ 職員の年齢層が高く、パソコン操作等に不安を感じる職員が多い。
- ✓ 保護者も忙しい日常の中で電話連絡や連絡帳への記載などに負担を感じている。

3. 課題解決に必要なこと

- 学童クラブ利用者の利便性の向上
- 学童クラブ職員等の業務負担の軽減

これらの取組を推進することで、学童クラブ職員が子供やその保護者と関わる・向き合う時間を確保し、児童の育成支援の充実を図る。

4. 学童クラブ利用手続きに関するDX推進実証事業（国庫補助事業）

市町村における放課後児童クラブDXの推進に必要な業務要件定義の検討やアプリケーション（ツール）の開発（既存システムの改修含む）等を通じて、保護者との日常的なやり取りなど、市町村放課後児童クラブ担当部局と放課後児童クラブにおける総合的なDX推進のための実証事業等を実施する。

- 【要件】
- (1) 関係者を構成員とするコンソーシアムの設置
 - (2) 実証事業内容
 - ①保護者と市町村等の間での業務（機能）
 - ②保護者と事業所の間での業務（機能）
 - ③市町村と事業所の間での業務（機能）
 - ④保護者・市町村・事業所等をつなぐ業務（機能）

【補助率】 国：10/10

採択自治体:全国5自治体
都内で応募・採択は羽村市のみ

5. 羽村市が実施する取組

- (1)コンソーシアムの設置（市・学童クラブ・事業者）
- (2)実証事業内容
 - ✓ 入退室管理のオンライン化
 - ✓ 連絡帳やお知らせ等のオンライン化
 - ✓ 長期休業期間中の配食サービス注文連絡のオンライン化
 - ✓ 児童の学童クラブ利用実績等の管理の電子化
 - ✓ 延長利用申請等の手続きのオンライン化
- (3)運営体制の強化
 - ✓ 学童クラブ職員に対する操作研修等の実施による運営体制の強化

事業費 8,809千円
（内訳：学童クラブ職員報酬・学童クラブDX推進事業委託料など）



放課後児童クラブ利用手続き等に関わるDX推進実証事業について

6. 具体的な内容

(1)コンソーシアムの設置(市職員・学童クラブ職員・事業者)

学童クラブ職員や利用者が抱える課題や不安等の洗い出しを行い、システム導入に必要な事項を検討し、実証事業を効果的に実施する。コンソーシアムは、市関係部局、学童クラブ職員、開発ベンダーで構成する。

(2)実証事業内容

✓ 入退室管理のオンライン化

児童の来所状況の把握や欠席・早退等の連絡、保護者への通知など、登降所管理に関する機能をオンライン化する。

✓ 連絡帳やお知らせ等のオンライン化

連絡帳機能や保護者等へのアンケート機能、学童クラブからのお知らせの配信などの機能を有するシステムを導入する。

✓ 長期休業期間中の配食サービス注文連絡のオンライン化

保護者が連絡帳で伝達しているお弁当の注文状況を集計・管理する機能を導入する。

✓ 児童の学童クラブ利用実績等の管理の電子化

毎月の開所日数や児童の出席状況等をシステムで一括管理する機能を導入する。

✓ 延長利用申請等の手続きのオンライン化

現在紙媒体で手続きを行っている延長利用申請等の手続きをシステムで一括管理し、集計・処理を行う機能を導入する。

(3)運営体制の強化

✓ 学童クラブ職員に対する操作研修等の実施による運営体制の強化
オンラインによる作業に不安を感じる職員をフォローし、スムーズな導入につなげる。

7. 保護者の意見

■ 子ども・子育てに関するニーズ調査

- ・ 市に期待する子育て支援策は何ですか？
(回答) 子どもに関する手続きや子どもが利用する施設の入退室・出欠席等における電子化の推進
- ・ 未就学児の保護者 18.7% (5位)
- ・ 就学児の保護者 21.3% (3位)

■ 学童クラブ利用者に対するアンケート(自由意見:抜粋)

- ✓ 時間外だと留守番電話に伝言を残しますが、希に内容が伝わっていないことがあるのでオンラインなどで伝えられると助かる。
- ✓ 欠席等の連絡の際、メールやオンラインで連絡できるようにしてほしい。
- ✓ 連絡をしても、職員同士で情報共有がされていないことがある。
- ✓ 電話連絡は、忙しい中で、学童クラブ職員の時間を割かせることを非常に心苦しく思っている。
- ✓ 電話連絡や連絡帳の活用では、記入漏れや伝達漏れをゼロにすることは難しいと思う。何か良い方法があれば良い。
- ✓ 保護者がオンラインで出欠・送迎時間等の登録をする、職員は当日にパソコン等で一覧を確認する等のシステムが作られると非常に便利だと思う。

担当課：子ども家庭部子育て支援課学童クラブ・児童館係
042-555-1111 (内262・263)
s304050@city.hamura.tokyo.jp

